

科目区分	研究科目		
授業科目名	分子機能学・代謝機能学		
担当者名	松村 欣宏	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	セミナー室, 実験室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 生命現象を分子や細胞レベルで明らかにすることによって, 疾患病態や生理現象のメカニズムの理解を深めることを目的とする。 授業の到達目標: 糖尿病, 悪性腫瘍などの研究テーマで研究活動を行い, 分子や細胞レベルで疾患病態や生理現象のメカニズムを解明する。作成した論文を海外一流学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得することを目標とする。 授業の概要: 1. 疾患病態でのエピゲノムとRNA制御やシグナル伝達に関する文献抄読を通じて最新の知見を学び, 研究を開始するにあたっての作業仮説の立て方や実証方法を指導する。 2. エピゲノムとRNA制御やシグナル伝達の解析に必須な生化学・分子生物学, 細胞生物学, 実験動物学, 発生学, 生物情報学の最新技術を習得させるとともに, 得られたデータの解析や集計方法について指導する。同時にこれらを学術論文にまとめる方法について指導する。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 松村 欣宏, ymatsumura@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	分子生化学		
担当者名	田中 正光	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる, 実験や学会等での発表, 論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後, 学位審査を経て, 学位取得を目標とする。 授業の概要: 腫瘍を構成する間質細胞の新規役割を調べる。がん細胞をサポートする間質細胞の機能と, その分子メカニズムを探索し, それを標的としたツールを作成する。がんの進展を助けるこれらの間質の成り立ち, その進展の機構を調べる事で, 新たながん治療を目指す。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) 田中 正光, mastanak@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			